

2019年度 宮城県考古学会 総会・研究発表会

特集 東北南部の中期古墳を考える

東北学院大学辻ゼミナールにより発掘調査された灰塚山古墳（福島県喜多方市）では中期古墳を考える上で貴重な成果が得られました。灰塚山古墳と東北地方南部の中期古墳との比較、古墳から出土した人骨について考えてみたいと思います。

また、灰塚山古墳出土の遺物の展示を行います。

« 総 会 » 10:00~10:50

« 研究発表会 » 11:00~17:00

○研究発表

11:00~11:30 「9世紀後半の須恵器壺における技術変化

- 「コテ状工具」に関する実験的研究 - 舘内魁生 氏

○特集『東北南部の中期古墳を考える』

11:30~11:35 特集趣旨説明

宮城県考古学会企画幹事

11:35~12:05 基調講演「福島県喜多方市灰塚山古墳の発掘調査成果」 辻 秀人 氏

13:10~13:30 報告「灰塚山古墳出土堅櫛の意味」 相川ひとみ 氏

13:30~13:50 報告「灰塚山古墳出土分離式神獸鏡について」 鈴木舞香 氏

13:50~14:10 報告「灰塚山古墳棺外副葬について」 横山 舞 氏

14:10~14:30 報告「灰塚山古墳出土箱式石棺の構造」 高橋伶奈 氏

14:40~15:10 研究報告「東北の中期古墳の埋葬施設と副葬品について」 菊地芳朗 氏

15:10~15:40 研究報告「東北地方中期古墳の特質」 藤澤 敦 氏

15:40~16:10 研究報告「東北地方古墳出土人骨の特徴」 奈良貴史 氏

16:20~16:50 意見交換（司会：古川一明氏）

【懇親・交流会 開催のお知らせ】当日お昼まで、会場にてお申し込みください。

会場：御酒印船仙台店18:00~ 会費：会員5,000円、学生4,000円

2019.5.11(土) 11:00 START

研究発表会はどなたでも、
無料で参加できます

会場：東北学院大学
土樋キャンパス ホーイ記念館

※会場には駐車場はございませんので、地下鉄南北線「五橋駅」
か「愛宕橋駅」など公共交通機関をご利用ください。

www.m-kouko.net

■主催 宮城県考古学会



第2主体部人骨出土状況
(東北学院大学辻ゼミナール提供)

